

## 川崎重工業株式会社

NO.2018045

2018年10月19日

各 位

会 社 名	川崎重工業株式会社
代 表 者 名	取締役社長 金花 芳則
コ ー ド 番 号	7012 東京① 名古屋①
問 合 せ 先	経理部長 星野 達生
	【東京】TEL 03-3435-2130
	【神戸】TEL 078-371-9531

### 車両事業における損失の計上等について

川崎重工は、車両事業における損失の計上等について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 車両事業における2018年度業績の悪化について

車両事業において、主として北米事業における損失発生等により、7月公表時の見通しに対し全体で約165億円の悪化を見込んでいます。

##### (1)米国ロングアイランド鉄道向け車両案件における採算の悪化

当社は、米国法人 Kawasaki Rail Car, Inc.を通じて、ニューヨーク州交通局傘下のロングアイランド鉄道とメトロノース鉄道が共同で調達する通勤電車を2013年に受注しています。当該案件では、契約済み（ベース契約）92両、および客先のオプション行使による追加車両の発注を想定し、プロジェクトに取り組んできました。現在、米国工場にて量産車の生産を開始しています。

##### ① ベース契約におけるコストの増加

収益改善活動の未達や予想を上回る調達品の値上がり等による資材費の増加、ならびに北米工場にて取り組んでいた生産効率の改善が想定を下回ったことなどにより、ベース契約で新たにコスト増加が見込まれるため、2018年度第2四半期決算において受注工事損失引当金を追加計上した結果、2018年度通期業績についても約25億円の悪化を見込んでいます。これらの事象に起因するコスト悪化については、2017年度末に計上した受注工事損失引当金には含まれていません。

##### ② オプション契約（110両）の受注に伴う損失の発生

ロングアイランド鉄道とは、代価増額の要請を含めオプション行使の条件に関する交渉を重ねてきました。オプション契約においては、仕様の追加変更要求に対する一部代価の増額を認められましたが、ベース契約車両と同様のコスト増加が見込まれるため、2018年度において約60億円の損失を計上する予定です。なお、同社との契約締結は、2018年度第3四半期以降に予定されているため、当第2四半期には受注工事損失引当金を計上していません。

(2) 米国ワシントン首都圏交通局向け車両案件等における追加コストの発生

当社は、2010年にワシントン首都圏交通局より地下鉄電車を受注しました。本年5月、本プロジェクトにおいて製造中の車両の品質確認検査の結果、配線の施工不良が判明し、納入済み車両にも改修が必要な車両が含まれていることが確認されました。なお、納入済み車両の営業運転には安全上問題のないことを顧客との間で確認済みです。

2018年度第2四半期決算において、上記に起因する改修費用に、その他北米での既納入車両にかかわる改修費等を加えて見直した結果、2018年度通期業績についても約50億円の悪化を見込んでいます。

(3) 国内案件における損失の発生

国内鉄道事業者向けに受注した複数の案件において、コストダウン目標の未達、想定を上回る資材費の値上がり、顧客との仕様解釈の相違に伴う価格改定の未達成などが重なり、2018年度第2四半期決算において受注工事損失引当金を計上した結果、2018年度業績についても約30億円の悪化を見込んでいます。

2. 車両事業の再建について

車両事業において、昨年度に引き続き大幅な業績悪化が生じた事態を重く受け止め、事業構造改革を推進していきます。

社長をトップとした車両事業再建委員会を設置し、プロジェクト管理の抜本的強化を図るとともに、市場構造変化への対応や組織体制を含め事業のあり方を検討し、結論を得たうえで実行に移します。

以上